

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 11月15日(金) Vol.28

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

学びに向き合う

11、12日は第2回定期テスト。特に3年生にとっては、志望校を確定する上で非常に大切なもので、これまで以上に気合いが入っています。登下校の際も、問題を出し合ったり、質問したり教えたりしながら歩く姿が多く見られました。もちろん、1、2年生もまた然り。

テストに挑むためには、家庭学習など自ら学ぶ時間をいかに充実するか、が重要になります。そこで、家庭学習のきっかけや足がかりにしてもらおうべく、本校では、次のような取組を行っています。

一つ目は、先生たちがとことん勉強に付き合ってくれる、「学習支援」。学年ごとに教科を決めて、担当の先生に教わることができる「質問室」と、黙々と自分で学習する「自習室」とが設けられます。



この日は、理科、英語、そして、数学を、それぞれの担当の先生に教わっていました。理科、英語、数学は、特に難しいと感じている生徒が多いようです。

授業の中では、気軽に質問や発言ができない生徒も、仲間と一緒に矢継ぎ早に先生に質問をします。

先生も、図を描いて何度も説明したり、「こういう場合は、どう考えればいいか、分かる？」などと、似たような例題を出したり。

疑問や不安を少しでも解消しようとする生徒、困ったらすぐに先生に聞ける安心感とともに、自力で取り組む生徒、自分の覚えたことを確認して、自信をつけようとしている生徒など、様々な生徒が集まります。



「質問室」は賑やかですが、そのすぐ隣の「自習室」では、一人ひとりが自分と向き合って、水を打ったような静けさの中で、じっくり学習に取り組んでいます。

ワーク、教科書、問題集など自分で課題を決めて、黙々と取り組みます。「家だと誘惑が多いけれど、学校だと集中できるので、どんどん進



めようと思います」と話す生徒もいました。

二つ目は、「定期テスト予想問題」。これは、学習図書委員会の生徒が教科担任の先生に取材したり、授業やワークでの重要そうなところを洗い出したりして、作成・配信しているもの。よくできています。

一通り解いて、できなかったところや不安なところを、教科書で確認するなどして、復習や補強に活用することができます。ヤマを張るわけではありませんが、結構な高確率で予想が的中しています。信頼と実績の学習図書委員会、いい仕事をしてくれます。

本校は、学習に意欲的な生徒が多い傾向がうかがえます。その背景には、保護者の皆さんが、学校の活動をよくご理解いただき、協力してくれている、ということが、まず挙げられると私たちは考えます。

また、生徒自身も、ルールやマナーを守って、協力しながら、真面目に学習に臨むとともに、そのような姿勢を尊重し合っています。毎日、各学級の授業を参観していると、集中して活動していたり、活発に話し合いなどをしていたりする様子が、そこかしこで見られます。チャイムが鳴らなくても、互いに声を掛け合って始業時刻を守って着席し、先生と一緒に授業を作りあげようとしています。

このような、当たり前前の学習の営みを、これからも大切に、「規律を守り、協力して学び合うことよさ」を、さらに体感できるように、積極的に支援してまいります。

音楽で心をつな

13日(水)、青少年劇場が開催され、成田エアポートシンフォニーオーケストラの皆さんが来校し、ポップスからクラシックまで、たくさんの曲を演奏してくれました。本来は40名以上のオーケストラですが、学校を訪問する際は、その一部の方が楽団を編成するそうで、本校では、フルート4名、トロンボーン、コントラバス、パーカッション、ピアノが各1名の、合計8名での演奏でした。



【フルートを吹くのは、瓶を笛のようにならすのと同じ…ということで、吹奏楽部の3年生を中心に、5名の生徒が挑戦。この後、フルートとコラボもしました】



【休憩時間は、楽団の方と自由に話ができることに。フルート奏者の華やかな雰囲気、多くの女子が、引きつけられていました】



【ラストナンバーのイントロは、アゴゴ(打楽器)から始まります。突然頼まれた生徒は、軽快に叩きました。カンカンココンカンココン♪お見事！周りの仲間も笑顔です】



【パーカッション奏者は特に人気集中。生徒は楽器の音色や奏法など、興味の赴くままに、素朴な疑問を次々に浴びせていました】



【ピアノの前に座らせてくれたり、リクエストに応じて「猫踏んじやった」を弾いてくれたり、サービスたっぷりのピアノ奏者】



【「アイドル」などアップテンポな曲では、先生も生徒も、これこの通り。手を叩き、拳を突き上げて、大盛り上がりでした】

楽団の皆さんの「観客と演奏者が一体感を持てるように」という願いから、体育館の中央で演奏する楽団を、生徒は取り囲むようにして座って鑑賞しました。さながら、小さな円形劇場のようです。

休憩を挟んで後半からは、「もっと楽器に近づいていいですよ」と促され、ほとんどの生徒が、手を伸ばせば触れられるぐらいにまで近づいて座り、プロのテクニックや、高価な楽器(高級車が3台買えるぐらいのコントラバスとか)に見とれていました。

車座になって音楽を楽しむ生徒の様子は、リズムにのって、笑顔にあふれ、実に楽しそう。合唱コンクールや体育祭とはまた違う、温かで穏やかな一体感が漂っていました。

好きなものや興味の対象は一人ひとりでも、このような機会に、みんなで同じ感動や楽しさを共有することができ、会場にいる全ての人の心が一つになっているのを、しみじみ感じました。

これからも、楽しさ・美しさ・感動などをたくさん味わって、心を豊かに耕し、本物に触れたとき、そのすばらしさを、素直に「すばらしい」と感じられる人であってほしいと願います。

響け！アンサンブル



【吹奏楽部2年生が17日(日)、アンサンブルコンテストに出場します。曲は「星屑のスケッチ」。応援しています！】